

# 付属大学の学部見学だけでなく、他大学まで広げた指導で生徒の視野・選択肢を広げる

## 東海大学付属甲府高校（山梨・私立）

テーマ ▶ キャリア教育 目的 ▶ 進路のミスマッチをなくす

### スタディサプリ for SCHOOL 活用法

#### ● 1年生

4月 東海大学 湘南キャンパス見学

9月 スタディサプリ for SCHOOL  
『適性診断』

仕事適性と文理傾向を知り、職業観を広げる



11月『適性診断』振り返り

#### ● 2年生

4月 東海大学 静岡キャンパス見学

5月 スタディサプリ for SCHOOL  
『適性診断』

自分の強みと学問分野の適性を知り、進路選択の方向性を決める



6月『適性診断』振り返り・資料請求

7月 オープンキャンパス ガイダンス

8月 オープンキャンパス (他大学)

スタディサプリ for SCHOOL  
『オープンキャンパスワークブック』

参加した学校の比較検討を行う

9月 東海大学オープンキャンパス

2月 志望理由書指導  
スタディサプリ for SCHOOL  
『志望理由ワークブック』

3年生の4月までに第一志望を決め、志望理由書の添削を行う

下の写真は、今年夏に完成した「特進自習室」。オープンキャンパス参加後の感想をまとめるために使っている生徒もいるという



取材・文／丸山佳子

### 課題

「付属校だから進路は安心」ではなく、本気で進路を考える仕組みを作るには？

東海大学付属甲府高校は、全国で14校ある東海大学の付属高校の1つ。例年、生徒の約6割が大学に進学し、そのうちの半数が東海大学に進学するという。「当校には東海大学を目指して入学してくる生徒や、部活動ががんばって推薦で大学へ行きたい生徒が多いです。国公立大学を目指す生徒たちもいますが、基本的に進学校だけと受験校ではない」という風土があるため、生徒ものんびりしてしまし、進路学習も以前は2年生からでした。でも、それでは少し遅い。東海大学は23学部62学科と、日本で最も学部数が多い私立大学です。このメリットを活かし、ミスマッチのない進路指導の仕組みを作りたい。その思いをリクルートの方と共有し、3年間の流れを見直したことで、進路指導の考え方が大きく変わりました」と進路指導主任の鷹野秀香先生。

### 活用

1年生の『適性診断』で職業観、2年生の『適性診断』とOCCで学部を選び、志望理由書へ

以前は、2年生の春に「スタディサプリ for SCHOOL」の『適性診断』を行い、興味ある学部学科を選び、東海大学のオープンキャンパスに行き、3年生の4月までに進路決定するのが、同校の進路指導の流れだったという。「でも、この流れでは職業観が広がりません。例えば、気象予報士になりたいなら東海大学では海洋学部です。仕事を知らなければ学部を選べないので、2022年度からは高校生活に慣れた1年生の2学期に『適性診断』を行って仕事適性と文理傾向を知る。2年生の1学期に再び『適性診断』を行い、興味ある仕事に関する学部学科を調べる。9月に東海大学のオープンキャンパスに行き、視野を広げる。2年生の3学期には第一志望を決めて志望理由書を書く練習をするという流れにしました。最初に職業観を養うことで、ス

ポーツに夢中な生徒も、スポーツトレーナーや指導者になる道を探するなど、将来像を描きやすくなったと思います」さらに今年度からは、他大学のオープンキャンパスにも積極的に参加するように生徒たちに指導をしているという。「変更理由は、『生徒の視野を広げるには、選択肢を増やしてあげるほうがいい』とリクルートの方からアドバイスをいただいたから。今までは、学部を知るなら東海大学で見学すればいいと考えていました。でも、多くの大学を比較したうえで東海大学を選んでくれれば嬉しいですし、生徒の選択肢が増えればミスマッチも減ります。そこで7月にガイダンスを行い、夏休みに他大学を見学させたところ、9月の東海大学オープンキャンパス参加希望者もすごく増え、驚きました。進路の流れができ、生徒たちは自分ごととして考えられるようになったんですね。オープンキャンパスで視野を広げた生徒たちが、今年度はどんな志望理由書を書いてくれるか楽しみです」と鷹野先生。



進路指導主任  
鷹野秀香先生（看護）

### School Data

創立1946年／普通科(共学)  
生徒数679人(男子462人、女子217人)進路状況(2024年3月実績)大学143人、短大8人、専門学校等61人、就職21人、その他8人